

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第4区分

【発行日】平成20年10月23日(2008.10.23)

【公表番号】特表2008-514172(P2008-514172A)

【公表日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【年通号数】公開・登録公報2008-017

【出願番号】特願2007-531742(P2007-531742)

【国際特許分類】

H 02 K 41/02 (2006.01)

H 02 K 41/03 (2006.01)

【F I】

H 02 K 41/02 C

H 02 K 41/03 A

【手続補正書】

【提出日】平成20年9月2日(2008.9.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

一次部品(21、22、52～57)と二次部品(15、16、17)とを有する電気機械(1～8)であって、一次部品(21、22、52～57)と二次部品(15、16、17)の間に空隙(80)が形成され、該空隙が完全に又は部分的に、少なくとも1つの滑り層面で置換され、一次部品(21、22、52～57)および/又は二次部品が滑り層(25、26)を有し、電気機械(1～8)がリニアモータ(1～8)であり、リニアモータ(1～8)が、第1および第2の一次部品(56、57)と、該部品に付設された二次部品(13)とを有するものにおいて、第1および第2の一次部品(56、57)が該部品に付設された二次部品(13)に対して偏心配置されていることを特徴とする電気機械。

【請求項2】

リニアモータ(1～8)が、二次部品(12、13)の周りで少なくとも3つの群をなす一次部品(52～55)で自己支持されたことを特徴とする請求項1記載の電気機械。

【請求項3】

二次部品(12、13)が、一次部品(52～57)の間に偏心配置されたことを特徴とする請求項1又は2記載の電気機械。

【請求項4】

滑り層(25、26)が種々の厚さを有することを特徴とする請求項1～3の1つに記載の電気機械。